

茨城工場CSRレポート

事業内容: 高圧ホース、シーリング材の製造
敷地面積: 152,000m²
従業員数: 290人(2010年3月現在)
所在地: 〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西一番地
 TEL: 0299(46)1111



工場長挨拶



多島 康彦

茨城工場は1973年、日本最大規模の高圧ホース専門工場として操業を開始し、1997年には建築用シーリング材工場を稼働して今日に至ります。

当工場は、当社「GD100」に基づき、「信頼される工場」「トップレベルの環境貢献工場」を目指して省エネルギー、産業廃棄物の削減、ゼロエミッションなどに取り組んでいます。省エネルギー活動では、設備的な改善をはじめ屋根への散水、蒸気・エアーの漏れ対策、工

アコン室外機によらず日除け実施、ゴーヤ日除けに取り組むなど、地道な活動で大きな成果を上げてきました。

ゼロエミッション活動においては、2008年県知事より「茨城県リサイクル優良事業所」の認定を頂きましたのでこれに恥じない活動を進めています。また、地域活動への参加を通して地域社会とのコミュニケーションの向上に努めていますので、今後工場への理解を一層深めていただくように計画を立てています。

茨城工場は、「トップレベルの環境貢献工場」、「地域に愛され・信頼される工場」を目指して、環境マネジメントシステムをさらに強化し、環境汚染の防止と継続的改善を全従業員参加で進めていきます。

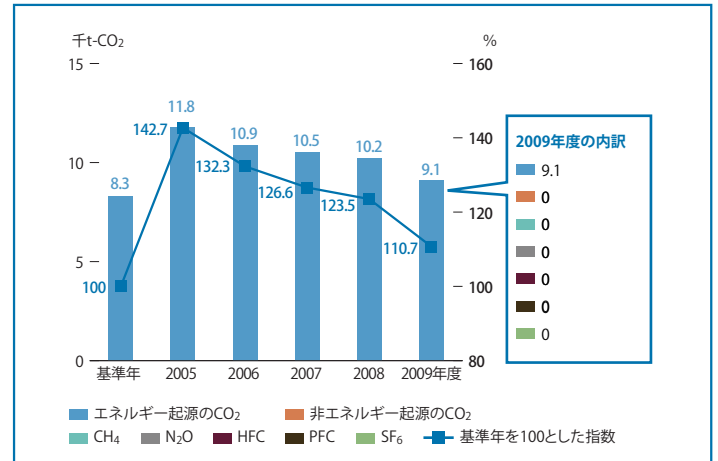
環境への取り組み

2010年度環境方針

- 茨城工場は、トップレベルの環境貢献企業の達成に向けて、全ての活動分野で環境に配慮した施策に取り組む。
- 信頼される工場となるために環境マネジメント・システムを強化し、環境汚染の予防と環境改善を継続的に進める。
- 世界一の工場づくりを目指し、環境改善のできることから確実に実施していく。
- 地球温暖化対策の省エネルギー及び資源保護のための廃棄物の低減・リサイクル・グリーン購入の推進を図る。
- 関連する法規制及び協定等を遵守し、環境保全に取り組む。
- 環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画的に実行する。
- 環境目的・目標及び計画は、年1回見直しを行う。
- 工場内全従業員及び組織の為に働く全ての人々が本方針を理解し、行動するよう教育と啓蒙を行い周知を図る。
- 地域の自然との調和・融合と、その共生を目指す。
- 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表する。

■温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数

2005年度より漸減しています。



※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境省公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。また、温対法改正(2010年3月31日)に伴い、燃料種別の発熱量と排出係数を見直しました。

■PRTR対象物質

(単位: t/年)

政令番号	対象化学物質	取扱量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響度評価 VII-5		
					有害性 ランク (人)	年間換算 排出量 (人)	年間換算 排出量 (生態)
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	2.005	0.000	0.104			
176	有機スズ化合物	3.048	0.000	0.184			
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1.657	0.000	0.134			
338	m-トリレンジイソシアネート	19.883	0.000	0.404			
227	トルエン	1.044	1.044	0.000	C	10.44	D 1.044
総合計		27.637	1.044	0.826		10.44	1.044

1: 取扱量は1トン以上を記載(ダイオキシン類を除く)ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載
 2: 排出量=大気+公共用水域+土壌
 3: 移動量=廃棄物+公共下水道

■大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2009年度実績		
				平均値	最大値	最小値
茨城工場 ボイラー	硫黄酸化物(K値)	10	0.28	0.12	0.13	0.11
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	119	59	68	51
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.2	0.014	0.0035	0.004	0.003

※大気汚染防止法、美野里町公害防止協定に準拠

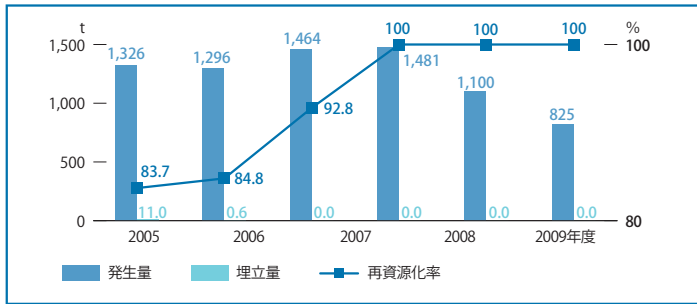
焼却炉施設廃止状況: 1999年7月廃止

環境への取り組み

■廃棄物データ

2005年度1%以下ゼロエミッションを達成し、2006年度より完全ゼロエミッションを継続しています。

2007年度再資源化100%を達成し、その後継続しています。



■水質関係測定データ(主要排水)

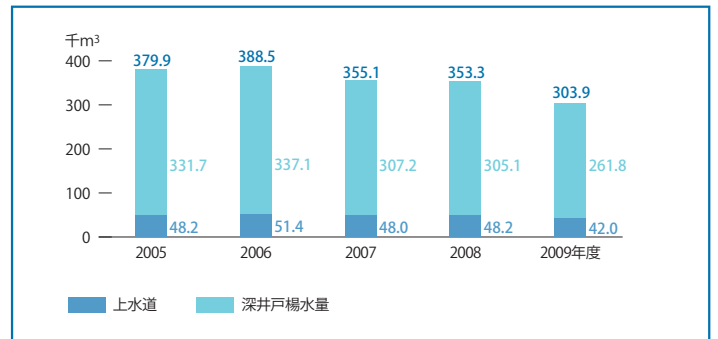
BOD濃度において自主規制値を超えました。

これは、分離槽表面に浮いた油分を分解すべく、適当に希釈した油脂分解処理剤を投入したことによるものです。この処理剤の主成分に有機物(ヤシ油脂脂肪酸)が含まれていること、高濃度の処理剤を油分離槽に投入していたことなどから、8月5日の工場排水定期サンプリングにおける分析結果のBOD・COD濃度に影響を及ぼしました。油分の漏れ出しの根本原因を除去することで再発を防止します。

排水口	項目	規制値	自主管理値	2009年度実績		
				平均値	最大値	最小値
茨城工場	PH	5.8~8.6	7.0~8.2	7.7	8.1	7.4
	BOD濃度 (mg/l)	10	4.2	1.8	4.5	1.0
	COD濃度 (mg/l)	10	5.4	2.1	4.9	1.0
	SS濃度 (mg/l)	15	3.5	1.2	3.2	1.0
	油分濃度 (mg/l)	3	0.8	0.5	0.8	0.5

※茨城県条例、小美玉市公害防止協定に準拠

■水使用量



地域社会とのコミュニケーション

2009年度にいただいたご意見

2009年度に寄せられたご意見は、特にありませんでした。

献血活動・日赤募金

- ① 2009年4月 工場内献血実施(27人)
- ② 2009年11月 工場内献血実施(17人)
- ③ 2009年8月 日本赤十字社茨城県支部 寄付(10千円)

交通安全・5Sへの取り組み

守衛による交通安全活動(常時)

- ・羽鳥小学校通学、帰宅時の交通整理

地域の5S

- ・地域の方への挨拶・声掛け推進、工場正門周辺 清掃・ゴミ拾いの実施
- ・月1回、各課持ち回りで、クリーン作戦実施(工場前国道からJR常磐線踏切までの道路際 清掃活動・草むしり)



交通指導



清掃



ハマタイトクリーン作戦



クリーン作戦

教育支援・施設開放

- ① 2010年2月 県立中央高等学校講演会実施「社会人としての心構え」(3R活動等)
- ② 2009年7月～9月 地元高校生工場見学(生産管理視察) 42人



工場見学

- ③ 商工会議所 工場視察 22人
- ④ 2010年2月 納場小学校工場の勉強(社会科) 52人



学童教育

- ⑤ 工場内野球場を地域へ開放(月3回×12カ月=36回)

地域社会活動への貢献

2009年7月	みのり太鼓後援会寄付	みのり太鼓後援会
2009年9月	小美玉市産業祭り商品提供(帽子15個)	小美玉市
2009年9月	羽鳥小学校 運動会寄付(CBノート5冊パック×40SET)	羽鳥小学校
2009年9月	美野里幼稚園 運動会協賛(らくがき帳)	美野里幼稚園
2009年10月	「第28回農村ふるさと祭り」プログラム広告掲載	農村ふるさと祭り実行委員会
2009年11月	高場区 第26回ふれあいセンター祭 協賛寄付	高場区
2009年11月	茨城県農業農民間体協議会 農業振興対策費 寄付	茨城県農業農民間体協議会
2010年2月	交番連絡協議会研修参加	交番連絡協議会

小美玉市駅伝大会への参加

2010年2月小美玉市駅伝大会へ参加しました。地域活動の活性化にも貢献しています。



駅伝に参加した皆さん



駅伝参加ゴール



2009年5月26日、第2期植樹会を実施し、80人の従業員が参加。従業員がどんぐりをから育てた自前の苗木を2,800本植えました。



参加従業員の声：浅場 昇

地球の資源を守るために、自分たちの会社が国内外で地道に植林していることを知り、私も環境に少しでも貢献しようという意識が増しました。普段地球から受けている恩恵を「恩返し」していきたいと思えます。